

## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年12月13日

上場会社名 株式会社 ニッピ  
 コード番号 7932 URL <https://www.nippi-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 桂作  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 善之

TEL 03-3888-5117

四半期報告書提出予定日 2019年12月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,973	0.8	1,090	448.1	1,055	269.8	748	476.8
2019年3月期第2四半期	22,142	4.8	198	85.3	285	78.5	129	83.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 632百万円 (410.0%) 2019年3月期第2四半期 124百万円 ( 86.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	260.25	
2019年3月期第2四半期	45.12	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	68,166	28,391	40.9
2019年3月期	67,910	27,907	40.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 27,874百万円 2019年3月期 27,405百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		50.00	50.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	0.8	1,950	134.5	1,850	119.2	1,250	626.2	434.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	2,889,000 株	2019年3月期	2,889,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	12,702 株	2019年3月期	12,514 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,876,430 株	2019年3月期2Q	2,876,510 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米中の貿易摩擦の影響や世界的な自動車販売及び半導体関連の低迷により製造業を中心に停滞感が見られ始めております。今後の景気の先行きは、消費増税による消費の落ち込みや輸出の減速、建設需要の消極化などの懸念材料が多く、不透明感は一層強まっております。

このような経営環境のもと、コラーゲン・ケーシングは、国内需要が停滞するなか、海外販売での価格改定や生産効率化などの収益改善施策に引き続き取り組んでおります。また、コラーゲンペプチドの需要は旺盛で好調に推移しており、国内外ともに魚由来製品の価格改定を進めております。なお、8月にコラーゲンペプチドの新工場が完成し稼働を開始しました。

また、賃貸・不動産事業では、10月1日付「当社なんば地区所有地の開発について」にてお知らせいたしましたとおり、大阪市浪速区なんばの一部所有地における開発計画の本格的始動を決定しており、その準備作業として埋蔵文化財調査に着手し、その概算額を特別損失に計上しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、21,973百万円(前年同四半期比0.8%減)となりました。

また、営業利益は、1,090百万円(同448.1%増)、経常利益は、1,055百万円(同269.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、748百万円(同476.8%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ① コラーゲン・ケーシング事業

国内販売は、需要が伸び悩む状況が続いており減収となりました。輸出販売は、在庫削減を意図した拡販により増収となりました。海外の競合他社との厳しい価格競争のなか収益改善に引き続き取り組んでおります。また、生産面では製造工程の改善等による製造原価の低減施策を推進しております。

この結果、売上高は、5,057百万円(前年同四半期比3.3%増)、営業利益は、538百万円(前年同四半期は営業損失213百万円)となりました。

## ② ゼラチン関連事業

ゼラチンは、カプセル用や惣菜用が堅調に推移して増収となりました。ペプチドは、魚原料が不足する状況が続いているものの、健康食品用や医薬用などが好調に推移しました。また、魚由来の製品に関しては、段階的に価格改定を進め引き続き収益の改善に取り組んでおります。

この結果、売上高は、4,992百万円(同2.8%増)、営業利益は、481百万円(同21.9%増)となりました。

## ③ 化粧品関連事業

スキンケア化粧品は、引き続き好調な通販市場を通じた販売に加え、消費増税前の駆け込み需要もあり、順調に推移いたしました。健康食品は、既存顧客のリピート購入を維持することができたことで堅調に推移いたしました。新規顧客の獲得は苦戦しているものの、誘因方法の見直し等により回復の兆しが出てきております。

なお、化粧品関連での広告効率が向上しており、売上拡大のため、広告宣伝費の投入額を増やしております。

この結果、売上高は、2,330百万円(同9.0%増)、営業利益は、82百万円(同22.0%減)となりました。

## ④ 皮革関連事業

靴用革、輸入原皮、靴用部材の加工は、堅調に推移したものの、自動車ハンドル用革は、国内及び中国の景気減速の影響を受けて減少しました。

この結果、売上高は、5,009百万円(同7.5%減)、営業利益は、194百万円(同5.1%減)となりました。

## ⑤ 賃貸・不動産事業

大阪市浪速区の土地賃貸事業は、駐車場用賃貸により暫定的に活用しておりますが、その一部において開発計画の本格的始動を決定し、その準備作業に着手するため、賃貸対象面積を減少いたしました。

また、再開発中の東京都足立区の土地賃貸事業は、大規模商業施設、保育所、フットサルコート、駐車場用地のほか、仮設中学校用地として足立区に期限付きで賃貸しており、一部賃料改定も実施し堅調に推移しております。

この結果、売上高は、398百万円(同2.9%増)、営業利益は、318百万円(同4.5%増)となりました。

## ⑥ 食品その他事業

iPS細胞関連などバイオ事業は順調に推移しましたが、有機穀物、イタリア食材、架橋塩化ビニルの販売は、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は、4,184百万円(同5.9%減)、営業利益は、128百万円(同11.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は68,166百万円となり、前連結会計年度末と比べ256百万円増加しました。これは主に、棚卸資産が200百万円増加したことなどによるものです。

なお、コラーゲンペプチド製造工場の完成に伴い、建設仮勘定から建物及び構築物、機械装置及び運搬具にそれぞれ振り替えを行っております。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、39,775百万円となり、前連結会計年度末と比べ227百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が355百万円、短期借入金が876百万円減少した一方で、設備関係支払手形などのその他流動負債が741百万円、長期未払金が265百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、28,391百万円となり、前連結会計年度末と比べ483百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、本日(2019年12月13日)公表いたしました「2020年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,121	3,808
受取手形及び売掛金	8,564	8,815
商品及び製品	7,533	7,298
仕掛品	448	604
原材料及び貯蔵品	1,221	1,500
未収還付法人税等	222	2
未収消費税等	366	547
その他	626	689
貸倒引当金	△76	△76
流動資産合計	23,027	23,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,940	9,472
機械装置及び運搬具(純額)	919	2,704
土地	27,535	27,535
リース資産(純額)	52	40
建設仮勘定	3,495	194
その他(純額)	137	151
有形固定資産合計	40,080	40,098
無形固定資産		
リース資産	8	138
その他	183	198
無形固定資産合計	191	336
投資その他の資産		
投資有価証券	4,217	4,080
長期貸付金	36	36
繰延税金資産	29	103
破産更生債権等	5	3
退職給付に係る資産	22	17
その他	396	396
貸倒引当金	△104	△100
投資その他の資産合計	4,604	4,537
固定資産合計	44,876	44,972
繰延資産	5	3
資産合計	67,910	68,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,456	8,101
短期借入金	12,421	11,519
1年内償還予定の社債	160	80
リース債務	32	48
未払法人税等	131	194
未払消費税等	246	101
賞与引当金	501	438
役員賞与引当金	45	43
ポイント引当金	56	56
その他	1,152	1,894
流動負債合計	23,204	22,475
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	8,226	8,349
長期末払金	470	735
リース債務	50	141
繰延税金負債	902	922
再評価に係る繰延税金負債	4,071	4,071
役員退職慰労引当金	505	507
退職給付に係る負債	2,130	2,142
資産除去債務	6	6
その他	233	221
固定負債合計	16,798	17,299
負債合計	40,003	39,775
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,404	4,404
資本剰余金	1,930	1,930
利益剰余金	11,376	11,981
自己株式	△37	△37
株主資本合計	17,674	18,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,085	989
繰延ヘッジ損益	△3	△17
土地再評価差額金	8,775	8,775
為替換算調整勘定	114	70
退職給付に係る調整累計額	△242	△222
その他の包括利益累計額合計	9,730	9,596
非支配株主持分	502	516
純資産合計	27,907	28,391
負債純資産合計	67,910	68,166

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	22,142	21,973
売上原価	17,989	16,916
売上総利益	4,153	5,057
販売費及び一般管理費	3,954	3,967
営業利益	198	1,090
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	87	92
為替差益	75	-
持分法による投資利益	7	3
その他	45	24
営業外収益合計	219	123
営業外費用		
支払利息	94	97
手形売却損	14	14
為替差損	-	21
その他	23	23
営業外費用合計	132	157
経常利益	285	1,055
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	6	1
固定資産売却損	0	-
会員権評価損	-	1
土地開発関連費用	-	110
特別損失合計	6	113
税金等調整前四半期純利益	279	941
法人税、住民税及び事業税	144	190
法人税等調整額	△31	△19
法人税等合計	112	170
四半期純利益	166	771
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	129	748



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	166	771
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	△97
繰延ヘッジ損益	15	△17
為替換算調整勘定	△55	△43
退職給付に係る調整額	23	20
その他の包括利益合計	△42	△138
四半期包括利益	124	632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84	613
非支配株主に係る四半期包括利益	39	18

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	279	941
減価償却費	715	753
繰延資産償却額	2	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	10	△63
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	47	58
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	15	16
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	26	2
受取利息及び受取配当金	△90	△95
支払利息	94	97
為替差損益(△は益)	△18	6
持分法による投資損益(△は益)	△7	△3
固定資産除却損	6	1
固定資産売却損益(△は益)	△0	-
会員権評価損	-	1
土地開発関連費用	-	110
売上債権の増減額(△は増加)	△166	△280
たな卸資産の増減額(△は増加)	621	△217
仕入債務の増減額(△は減少)	10	△329
未払消費税等の増減額(△は減少)	104	14
その他の資産の増減額(△は増加)	28	△68
その他の負債の増減額(△は減少)	65	250
小計	1,748	1,193
利息及び配当金の受取額	89	94
利息の支払額	△100	△96
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△522	74
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,214	1,266
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,263	△350
有形固定資産の売却による収入	0	-
無形固定資産の取得による支出	-	△70
貸付けによる支出	△3	△0
貸付金の回収による収入	0	0
出資金の払込による支出	△16	-
その他	△1	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,285	△443

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	337	△866
長期借入れによる収入	1,545	2,500
長期借入金の返済による支出	△2,105	△2,401
社債の償還による支出	△200	△80
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△172	△143
非支配株主への配当金の支払額	△2	△4
リース債務の返済による支出	△21	△16
長期未払金の返済による支出	△204	△111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△823	△1,125
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△915	△313
現金及び現金同等物の期首残高	5,120	3,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,204	3,635

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。